



# 水性 2液高付着浸透形カチオン系エポキシシーラー 水性パーフェクトシーラー

WATER BONE  
PERFECT  
SEALER

各種無機系・有機系素材に  
対応可能なシーラー。  
環境と人にやさしい水性です。

■ 特長 弱溶剤シーラーで培った付着技術を水性で実現。においが少ないタイプです。

## 1. 多用途

無機、有機ハイブリッド技術により開発された特殊樹脂の効果により、従来のモルタル、コンクリート、木部に加え、サイディングボード等あらゆる素材に幅広く対応します。

※下記適用下地以外のものは対応できない場合があります。

## 2. 浸透+高付着

下地に対して高い浸透性と含浸補強性を持つとともに、高い付着力が発現します。(当社比)

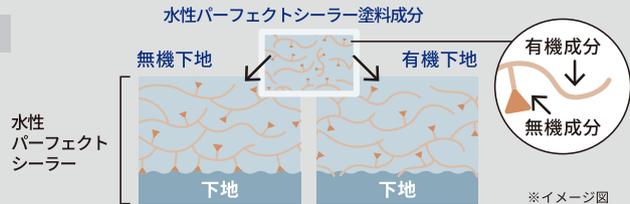
## 3. 高意匠サイディングボード対応

これまで無機や親水表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。水性パーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されにくく、各種外壁材に対応可能です。

※高意匠サイディングボードとは新築時に「高耐候」や「超低汚染」の目的で無機成分により表面処理された意匠性の高いサイディングボードを指します。一般的な下塗り塗料では、付着性を十分に確保しにくいことで知られています。

### 無機・有機、両下地対応のメカニズム

無機下地には無機成分が、有機下地には有機成分がそれぞれ付着することで、幅広い下地に対応できます。



### サイディングボードの意匠と種類の例



窯業系サイディングボード  
(高意匠)



窯業系サイディングボード  
(シンプルデザイン)

## 4. 適用下地

無機系素材									有機系素材 ※1			
押出成形セメント板	サイディングボード	磁器タイル	コンクリート	モルタル	ブロック	PC板	けい酸カルシウム板	A L C	G R C	FRP樹脂	硬質塩ビ	木部

注1) 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイルなどの特殊なタイルには付着しにくいので、試験塗装にて付着性を確認してください。れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、別途ご相談ください。

注2) けい酸カルシウム耐火被覆板への施工は避けてください。

注3) 素材の吸い込みにより使用量は異なります。

※1 有機系素材など塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。

塗料性状・荷姿・塗装方法

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
ニッパ 水性パーフェクトシーラー	透明(乳白色) ホワイト(白色)	-	15kgセット(塗料液14kg・硬化剤1kg)	無希釈	-	0.10~0.16	はけ・ウールローラー
						0.12~0.16	エアレスプレー

※ 少しでも希釈すると性能が低下します  
 ※ 上記の数値は標準的な数値です。被塗物の形状、素地の状態、気象条件および測定機器・測定方法により増減します。  
 ※ 記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

適用上塗り塗料・適用下地

	適用上塗り塗料	適用下地
内外壁 付帯部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パーフェクトトップ</li> <li>●パーフェクトセラミックトップG</li> <li>●パーフェクトウルママット</li> <li>●ファインパーフェクトトップ※1</li> <li>●パーフェクトトップローズ</li> <li>●水性シリコンセラーUV</li> <li>●1液ファインフッソUV※1</li> <li>●1液ファインシリコンセラーUV※1</li> <li>●ファインDFセラミック</li> <li>●ファインフッソ</li> <li>●ファインシリコンフレッシュII</li> <li>●ファインSi</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モルタル面</li> <li>●窯業系サイディングボード</li> <li>●コンクリート面</li> <li>●ALCパネル面</li> <li>●FRP</li> <li>●木部</li> <li>●各種旧塗膜の上</li> </ul>

※1 弱溶剤上塗り塗料 (1液タイプ) は新設で素材のアルカリが強い場合は避けてください。  
 ※ 上塗りには強溶剤系塗料は使用禁止。  
 ※ 上記以外の上塗り塗料につきましては最寄りの営業所までお問合せください。  
 ※ 適用下地について詳しくは表面をご覧ください。

乾燥時間・ポットライフ

	5~10℃	23℃	30℃	ポットライフ
指触乾燥	2時間	1時間	30分	6時間(23℃)
塗り重ね乾燥	6時間以上	4時間以上	2時間以上	

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにご確認ください。

1. 適用可能な上塗りについては、カタログをご参照ください。カタログに記載ない上塗りを使用した場合には、不具合が生じる恐れがあるため、適用可否については最寄りの営業所にご相談ください。  
 2. 被塗面の洗浄やエフロッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残ったまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。  
 3. 使用量は、濡れ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。  
 4. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。  
 5. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥がれていることがありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。  
 6. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。  
 7. 吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。8.F.R.P. 塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目直し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。  
 9. 経年したサイディングボード面の塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。  
 10. 本品を塗装する場合は、上・中塗りの透けや塗り残しのないようご注意ください。また当たり傷などにも注意してください。上・中塗りに透けや塗り残しまたは当たり傷があると紫外線により周辺塗膜が早期に劣化する恐れがあります。  
 11. 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイル、れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、試験施工により確認してください。  
 12. 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。  
 13. 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむり切りし、除去してください。  
 14. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。  
 15. 上塗りにクリア塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。  
 16. 劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けて下さい。  
 17. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きで除去してください。  
 18. 動物はけは、はけが固まったらタマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。  
 19. ほかの水性塗料と混合することがありますので、混合したり、はけ、ローラー、エアレス装置などの共用は避けてください。  
 20. 容器に付着する場合はポリ容器をお使いください。(鉄製、ブリキ製は腐食します)  
 21. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなど吸い込まないように十分にご注意ください。  
 22. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面としてください。付着害をおこすおそれがあります。  
 23. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせ

を行ってください。  
 24. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッパ浸透性シーラー(新)、ニッパ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッパファインパーフェクトシーラー、ニッパファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸い込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。  
 25. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。  
 26. やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面に十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面に十分乾燥させてから塗装してください。  
 27. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。  
 28. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ;コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。  
 29. 素地の乾燥は十分に行ってください。  
 30. 表面のごみ、ほこり、エフロッセンス、レイタンスなどは除去し、目直し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。  
 31. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッパ1材カチオンファイラー、ニッパ1材ファイラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)  
 32. 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用下さい。  
 33. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。  
 34. 屋外の塗装で降雨、降雪の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッパプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。  
 39. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。  
 40. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。  
 41. クロスの上の塗装は避けてください。  
 42. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。  
 43. 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル銅板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。  
 44. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。  
 45. 塗料は内容物が均一になるようによくはんとしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底層の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。  
 46. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。  
 47. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。  
 48. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。  
 49. 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180  
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
 中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログの商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディング株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

お家のカラーコーディネートガイド

無料メールマガジンの読者募集



ペイント  
かわら版



カタログNo.  
NP-C095  
NP240607T  
2024年6月現在